



資料提供
令和6年2月2日
課名：平和推進プロジェクト・チーム
担当者：松崎
内線：2368
直通電話：082-513-2368

ユニタール核軍縮・不拡散研修 研修生及び講師による湯崎知事への表敬について

国連訓練調査研究所（ユニタール）広島事務所が実施する、核軍縮・不拡散研修の研修生及び講師が、湯崎知事への表敬訪問のため、県庁を訪問されます。

今年はアジア・太平洋州の13ヶ国から18名の研修生が参加され、当日は研修生と知事の歓談も予定されています。是非取材をお願いします。

※ユニタール核軍縮・不拡散研修について

- ・広島県及び広島市の協力のもと、アジア・太平洋州の外交官や防衛に携わる職員を被爆地・広島に招聘し、核軍縮・不拡散をめぐる国際・地域情勢の理解促進や交渉技術の向上を目指す。平成27（2015）年度から実施されており、今年度で9回目を迎える。
 - ・今年度の研修では、平和公園VRツアーや被爆者との対話、日本で核軍縮・平和についての活動を行う広島・長崎の若者との交流、戦後復興に寄与したお好み焼きの紹介を交えたお好み焼き体験など、昨年度に引き続き現地での学びを強化している。
- 今年度の研修は、2月5日（月）～10日（土）の6日間で実施される。

【表敬の概要】

- 日時：令和6年2月7日（水）11:30～11:50
- 場所：北館2階 第一会議室
- 表敬者：
 - 研修生18名
 - 講師
 - ・タリク・ラウフ（元 国際原子力機関（IAEA）検証・安全保障政策課長）
 - ・ティム・ユーリー（国連軍縮研究所（UNIDIR）シニア・フェロー）
 - ・ユーリ・クリボノス（元 国連アジア太平洋平和軍縮センター（UNRCPD）所長）
 - 三上 知佐 ユニタール広島事務所長
- 次第：
 - 三上所長挨拶（研修概要等）
 - 知事挨拶
 - 研修生代表挨拶
 - 歓談
 - 写真撮影
- 使用言語：英語 ※通訳の用意はございませんので、予めご了承ください。
- その他：

研修全体のスケジュール、及び知事表敬以外のお問い合わせにつきましては、別紙（ユニタール広島事務所プレスリリース）をご参照ください。

PRESS RELEASE

2024年核軍縮・不拡散研修公開フォーラム 「核軍縮と平和な世界の実現」を開催

2024年1月24日、広島 — 国連ユニタール持続可能な繁栄局は、2月5日から2月10日までの5日間の日程で、核軍縮・不拡散(NDNP)研修を広島で実施いたします。カンボジア、インドネシアのほか、今回初参加となるキリバスなど、アジア太平洋地域から13か国の外務省の若手実務者ら18名が広島を訪れるこの研修では、核拡散防止条約(NPT)再検討会議や核兵器禁止条約会議の振り返りや核兵器がもたらす人的被害など多岐に渡るセッションを通して、核軍縮・不拡散の現況や国際会議で求められる交渉スキルなどを学びます。

研修の一環として、2月10日(土)午前10時から午前11時30分まで、広島平和記念資料館メモリアルホールで公開フォーラム「核軍縮と平和な世界の実現」を一般社団法人国連ユニタール協会と共催します。パネリストとして、核兵器禁止条約交渉会議で議長を務めたコスタリカ元ジュネーブ国連大使のエイン・ホワイト氏、元国際原子力機関検証安全保障政策課長のタリク・ラウフ氏、広島平和文化センター理事長・平和首長会議事務総長の香川剛廣氏が登壇します。参加費は無料で、参加には事前登録が必要です。英語・日本語の同時通訳あり。オンライン配信なし。

本研修は2015年度より、広島県、広島市のご支援により実施しており、今回で第9回目を迎えます。

研修日程（抜粋）

2月 5日(月)	13:00~15:30	平和記念公園 VRツアー
	15:30~15:45	原爆慰霊碑への献花→原爆資料館見学
2月 6日(火)	14:30~14:50	広島市長表敬訪問
	16:30~17:30	被爆者による講話（@広島商工会議所）
2月 7日(水)	11:30~11:50	広島県知事表敬訪問
	16:30~18:00	青少年との交流（@広島商工会議所）
	18:30~20:30	お好み焼き体験（@広島駅OKOSTA(オコスタ)）
2月10日(土)	10:00~11:30	公開フォーラム （@広島平和記念資料館メモリアルホール）

※研修生の自由な議論を保障するため上記以外のセッションへの来場はご遠慮ください。講師や研修生へのインタビュー等をご検討の場合は別途お知らせください。スケジュールなどの詳細は変更になる可能性があります。

国連ユニタール公開フォーラム —核軍縮と平和な世界の実現—

広島は昨年G7サミットを開催し、平和な世界の実現のため核軍縮不拡散により力を入れていくことを広島の地を訪れた世界のリーダーたちと再認識しました。これは岸田首相が2022年の第10回核兵器不拡散条約運用検討会議で提唱した「ヒロシマ・アクション・プラン」とも一致するものであり、平和な世界の実現に向け被爆地広島からのアクションがこれまで以上に求められています。

一方で、世界ではロシアのウクライナ侵攻、イスラエルのガザ攻撃と武力紛争により多くの尊い命が犠牲になっている現実を前に、今一度核軍縮の必要性和世界平和について同分野の専門家と考える機会を設けたいと思います。

モデレーター



エレイン・ホワイト
コスタリカ元ジュネーブ
代表大使



タリク・ラウフ
元国際原子力機関検証
安全保障政策課長



香川 剛廣
(公財)広島平和文化センター理
事長・平和首長会議事務総長



三上 知佐
ユニタール広島事務所長

2024年2月10日(土)

午前10時～11時30分

※受付午前9時30分開始

📍 広島平和記念資料館(東館地下1階)
メモリアルホール
資料館入口から、右手の階段を下りてご
来場ください。

🌐 日本語・英語(同時通訳あり)

✅ 入場無料、会場でのみご参加可能です。

参加ご希望の方は、2月9日(金)正午
までに、下のQRコードよりご登録ください。



後援：広島県・広島市・平和首長会議・公益財団法人広島平和文化センター・中国新聞社



お問い合わせ
国連訓練調査研究所(ユニタール)広島事務所
〒730-0011 広島県広島市中区基町5-44
TEL: 082-511-2424
Contact: info@unitar-a.jp

国連訓練調査研究所(ユニタール)は、研修事業に特化した国連機関として、世界レベルの知識や技術の共有を進めています。1963年の設立以来、よりよい未来のために変化を生み出せる人材を世界各地で送り出してきました。2021年には370,139人が受講。ジュネーブ本部のほか、ニューヨーク事務所、広島事務所、ボン事務所があり、世界中に様々なネットワークをもっています。2019年からは持続可能な繁栄局のもと、広島事務所と、ジュネーブ本部の財政・貿易ユニットの職員がともに、起業やリーダーシップ、貿易と金融、デジタル技術、軍縮などについてプログラムを展開しています。紛争後復興の過程にある国の人々への研修などには、原爆投下後から現在の平和都市に至る過程を一つの復興モデルとして講義に組み込むなど、平和で公正な社会の実現にも貢献しています。日本での公的な支援組織として、2019年に一般社団法人「国連ユニタール協会」が設立され、国連ユニタールの広報・啓発活動に協力しています。